

令和6年度 学校評価(自己評価)の集計結果と考察

令和7年1月14日(火)

1 調査の概要

- (1) 方法
- (2) 実施日
- (3) 対象
- 質問紙法
- 令和6年11月12日～12月2日

		対象	回答数	回収率
自己評価	教職員	70	70	100.0%
	高等部生徒	30	25	83.3%
	保護者	65	52	80.0%
外部アンケート	堀切地区住民代表	3	3	100.0%
	地域支援関係(保幼、小、中、高)	31	20	64.5%
学校関係者評価	学校運営協議会委員	7	5	71.4%

- (4) 集計方法
- (5) 分析方法
- 回答は、A「そう思う」、B「だいたいそう思う」、C「あまりそう思わない」、D「全くそう思わない」の4段階とし、質問により記述欄(改善案等)を設けた。
- 下記により、全体に占める、A・Bの回答の割合により分析。
・AとBの合計が全体の80%未満の項目は改善を要するものとする。
・前年度分のA・B回答が占める割合(%)と比較を行い、改善状況を考察する。
・なお、従前からの点数化による平均値も算出・併記し、参考とする。

2 結果の概要 * ()は前年度比

(1) 改善を要する(80%未満)項目 表：ピンク色枠内

【教職員】	No, 26 本校は、業務の精選、簡素化、効率化とスリム化を図り、業務改善を推進している：79.4% (+10.3%) *C:12名 D:2名
【高等部生徒】	No, 9 学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる。：75.0% (−7.6%) *C:4名 D:2名
	No, 17 寄宿舎は、楽しい。：78.9% (−10.6%) *C:4名

<参考>昨年度に改善を要するとされた項目

【教職員】	No, 19 業務の精選、簡素化、効率化とスリム化による業務改善の推進：69.1%→(R6:79.4%)
【高等部生徒】	No, 11 卒業後どのような進路があるか分かる：78.3%→(R6:95.8%)
【高・保護者】	No, 8 PTA活動は、活発に行われている：75%(R6:92.0%)
	No, 9 学校は、学級通信などで保護者に必要な情報を伝えている：75%(R6:92.0%)

(2) 昨年度より5%以上、上昇した項目は以下の対象項目である。 表：オレンジ色枠内

【教職員】	No, 26 本校は、業務の精選、簡素化、効率化とスリム化を図り、業務改善を推進している：79.4% (+10.3%)
【高等部生徒】	No, 6 学級の仲間と楽しく過ごせている。：95.8% (+8.8%)
	No, 11 卒業後どのような進路先があるか知る機会がある。：95.8% (+17.5%)
	No, 14 学校の先生たちは、頑張ったとき、ほめてくれる。：95.8% (+8.8%)
【寄宿舎】	No, 18 寄宿舎の先生たちは、話をよく聞いてくれる。：90.0% (+5.8%)

<参考>昨年度、評価が前年度を5%以上上回った項目 *【R6年度の数値】

【高等部生徒】	No, 1 学校は、楽しい。：95.7%→【R6:88.0%】
	No, 3 生活単元学習(行事や係活動への取組)で生活に必要な力がついている。：91.3%→【R6:95.8%】
	No, 4 国語や数学で自分に必要なことを学べている。：95.7%→【R6:90.9%】
	No, 7 部活動が、楽しい。：89.5%→【R6:82.4%】
	No, 19 寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる。：100.0%→【R6:89.5%】
	No, 20 寄宿舎まつりや舎友会行事などの活動に満足している。88.9%→【R6:89.5%】

(3) 昨年度より5%以上、下降した項目は以下の対象項目である。 表：水色枠内

【教職員】	No, 8 本校は、社会で自立して、地域の復興を願い、力強く生きる教育に取り組んでいる。：91.4%（－7.1%）
	No, 10 本校は、関係する市町村、関係機関と連携して一人一人の支援のネットワークを築いている。：91.4%（－7.1%）
	No, 12 本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている。：94.3%（－5.7%）
	No, 18 本校は、全職員、保護者、関係機関、地域の方々が学校経営に参画できる体制「チーム拓陽」を推進している。：90.0%（－5.6%）
【高等部生徒】	No, 1 学校は、楽しい。：88.0%（－7.7%）
	No, 5 保健体育や芸術（音楽・美術）、特別活動や自立活動、総合的な探究の時間などで、自分に必要なことを学んでいる。：91.7%（－8.3%）
	No, 7 部活動が、楽しい。：82.4%（－7.1%）
	No, 8 学校の先生たちは、悩みや相談など話をよく聞いてくれる。：83.3%（－12.4%）
	No, 9 学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる：75.0%（－7.6%）
【寄宿舎】	No, 17 寄宿舎は、楽しい。：78.9%（－10.6%）
	No, 19 寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる。：89.5%（－10.5%）
【地域支援】	No, 1 本校の相談・研修支援事業は、活用しやすい。：95.0%（－5.0%）
	No, 3 本校の相談支援の回数や時間は、適切である。：85.0%（－12.0%）
	No, 4 本校の相談・研修支援の活用が、貴園貴校の特別支援教育体制の充実につながっている。：95.0%（－5.0%）

<参考>昨年度、評価が前年度を5%以上下回った項目

【高等部生徒】	No, 6 学級の仲間と楽しく過ごせている。：87%→【R6：95.8%】
	No, 9 学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる。：82.6%→【R6：75.0%】
	No, 12 学校の先生たちは、卒業後の進路や生き方について考える手伝いをしてくれる。：91.3%→【R6：95.8%】
	No, 15 学校の先生たちは、悪いところは注意してくれる。：87.0%→【R6：91.7%】

(4) AとBの回答合計が100%の項目は下記のとおりである。

【教職員】	No, 7 本校は、様々な災害から身を守る防災安全教育に取り組んでいる（±0%）
	No, 21 私は、いじめにつながる状況がないか、目配りや情報収集を行っている。（+4.4%）
	No, 22 私は、いじめに関する校内研修会に参加又は資料で内容を確認している。（1回目：いじめ防止校内研修会5月職員会議後に実施、2回目：学校教育課指導主事による研修会7月）（+2.9%）
【高等部生徒】	No, 2 作業学習や実習で、働く力が付いている。（+4.3%）
	No, 13 学校の先生たちの話は、丁寧で分かりやすい。（±0%）
【堀切地区】	全項目。
	No, 1 学校は、地域と協力して活動しようという姿勢がある。（±0%）
	No, 2 学校は、地域に貢献している。（±0%）
	No, 3 堀切クリーン作戦は、地域の環境美化活動として役立っている。（今年度は雨天中止）（±0%）
	No, 4 堀切ふれあいセンター等の花壇整備は、地域交流活動として役立っている。久（±0%）
	No, 5 田屋町組みこし交流は、地域交流活動として役立っている。（±0%）
	No, 6 寄宿舎まつりや避難訓練等は、地域交流活動として役立っている。（±0%）
【地域支援】	No, 7 学校の教育活動について、「海鳴」「堀切通信」などから情報が提供されている。（±0%）
	No, 2 本校の相談・研修支援は、園児児童生徒の背景理解を深め、具体的な支援に役立っている。（±0%）
	No, 5 （該当園のみ）本校職員の園訪問等は、貴園園児の就学支援に役立っている（±0%）

【学校運営協議会】	全項目。 No, 1 久慈拓陽支援学校は、児童生徒が主体的に活動する教育の充実を図り、I C Tなどを活用し児童生徒の自立と社会参加に向けた個々の教育的ニーズに応える指導・支援を行っている。(±0%) No, 2 久慈拓陽支援学校は、食育や防災学習、いじめ防止活動等を通して、健康や命の大切さを意識した取組や復興教育に関連する指導・支援に取り組んでいる。(±0%) No, 3 久慈拓陽支援学校は、児童生徒一人一人の進路実現に必要な進路学習、職場見学、実習を適切に行っており、自立と社会参加に向けた生活経験の拡大を図っている。(±0%) No, 4 久慈拓陽支援学校は、久慈圏域の幼保小中高等学校等の特別な教育的ニーズに関する相談・支援に積極的に対応している。(±0%) No, 5 久慈拓陽支援学校は、学校評価や学校運営協議会制度を活用し、本校教育理念に沿って地域に根ざした学校づくり、学校経営を行っている。(±0%) No, 6 久慈拓陽支援学校では、各種研修会や学習会及び講演会等を実施し専門性の向上を図るとともに、児童生徒のニーズにチームとして対応するシステムが機能している。(±0%) No, 7 久慈拓陽支援学校は、児童生徒の人権を尊重した指導支援を行うための各種研修会を実施し、不適切な指導の根絶する体制を構築している。 No, 8 久慈拓陽支援学校の学校経営計画の重点は、適切である。(±0%) No, 9 久慈拓陽支援学校の学校経営は、適切に行われている。(±0%)
-----------	--

<参考>昨年度の結果

【教職員】	No, 7 本校は、様々な災害から身を守る防災安全教育に取り組んでいる。:100.0%→【R6:100.0%】 No, 9 本校は、児童生徒一人一人の希望と生きがいを大切にした自立と社会参加を目指している。:100.0%→【R6:95.7%】 No, 12 本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている。:100.0%→【R6:93.0%】 No, 15 本校は、学校評価の結果や学校運営協議会等の意見を取り入れ、本校の教育活動の改善を進めている。:100.0%→【R6:98.2%】
【高等部生徒】	No, 5 保健体育や芸術（音楽・美術）、特別活動や自立活動、総合的な探究の時間などで、自分に必要なことを学べている。:100.0%→【R6:91.7%】 No, 13 学校の先生たちの話は、ていねいでわかりやすい。:100.0%→【R6:100.0%】
【寄宿舎】	No, 19 寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる。:100.0%→【R6:89.5%】
【保護者】	No, 10 寄宿舎は、お子様の思いを尊重し、適切に対応している。:100.0%→【R6:95.8%】
【堀切地区】	全項目
【地域支援】	No, 4 本校の相談・研修支援の活用が、貴校の特別支援教育体制の充実につながっている。:100.0%→【R6:90.5%】 No, 5 本校職員の園訪問等は、貴園園児の就学支援に役立っている。:100.0%→【R6:100.0%】
【学校運営協議会】	全項目

3 分析・考察等

(1) 回収率

地域支援関係・学校運営協議会委員は、他に比べ低くなっているが、平均83.2%の回収率となる。このことからすべてのアンケートにおいて、概ね回収できたと判断し、信頼性に足ると捉える。

(2) 結果(改善を要する項目)

改善を要する項目(80%未満)は、3項目である。一つ目は、【教職員】の「業務改善の推進」があり、次年度から引き続くものであった。二つ目、三つ目は【高等部生徒】の「いじめ問題への対応」「寄宿舎生活」であった。「いじめ問題への対応」では、前年比7.6%下降し、「寄宿舎生活」では、前年比10.6%下降した。

(3) 考察

- ① 【教職員】の「業務改善の推進」については、79.4%の肯定的回答であった。その一方で、「自己の業務効率化を図っている」には、87.1%が肯定的回答をしている。また、自由記述から、「業務改善の推進」について「行事、会議の精選」というキーワードが多く見られ、昨年多く見られた個々で努力しているものの「個人への業務の偏り」、「当番業務の多さ」、「そもそもの業務量の多さ」等のワードは無くなった。昨年度から取り組んでいる「業務改善の推進」について一定の成果が現れてきていると考える。今年度、多くの職員が必要と考えている「行事の精選」では、方針や方法について各々の考え方があり簡単に進められないという状況がみえてきた。
→「会議」「校務処理」の効率化は継続する。「行事の精選統合及び内容の簡素化」について、教職員の共通理解を深めながら検討し、「行事の引き継ぎ資料整理」に努める等、改善に努める。
- ② 【高等部生徒】の「いじめ問題への対応」は、R4:96.0%、R5:82.6%、R6:75.0%と年々下降している。今年度、「学校や寄宿舎が楽しい」に否定的回答している生徒が一定数おり、悩みなどを抱えていることが推測される。学校や寄宿舎の先生たちが話を聞いてくれることに肯定的回答をしている生徒が多いが、「あまり真剣に取り組んでくれない」と記述している生徒もあり、いじめや交友関係等の相談に対応しているが、生徒は納得感が得られなかったり解決が遅いと感じたりしていると推察する。
→教職員は、不適切な指導やいじめにつながる状況がないか情報収集や研修受講等に努めているが、多くの生徒が肯定的回答するまでに至っていない。日頃の授業や生活の中で児童生徒の発達や特性を踏まえた道徳的指導を通した「集団」への指導を充実させながら、今後も児童生徒の「個別」のニーズや悩み、相談に丁寧に向き合い、組織的に迅速に対応できるように進めていきたい。
「寄宿舎は、楽しい」は、学校以上に寄宿舎の部屋や棟の仲間との距離が近くなってしまうため、記述などから対人関係や気遣いなどの他者との距離感が気になる生徒が一定数いるものと考えられる。
→日課の余暇時間等を活用して日常の舎内生活を楽しくする工夫を取り入れたり、棟行事等を精選・工夫したり、生徒の意見を反映するなど取り組んでいきたい。また、生徒との会話を大切にし、寄宿舎生活の悩みや要望を聞き、改善できるものは改善し、難しい場合はきちんと説明するようにしたい。

- ③ 5%以上の上昇項目は、教職員の「業務改善の推進」であり、肯定的回答が79.4%で80.0%を下回ったが、昨年度比10.3%上昇した。依然、改善を要する事項であるものの学校全体の取組について自己評価が上昇している。高等部生徒の項目においては、「学級の仲間と楽しく過ごせている」が95%以上肯定的回答となり、昨年度、改善項目であった「卒業後の進路先」について、95%以上が知ることができたと肯定的だった。生徒は、「先生たちにほめられる」ことや「寄宿舎の先生たちに話を聞いてもらえる」ことに高い評価がみられ、生徒たちは満足していることが分かった。
→今後も継続したい。
- ④ 5%以上の下降項目は、【高等部生徒】の「いじめ問題への対応」「寄宿舎生活」を除き、概ね80%以上肯定的回答のため、良好であるが、【教職員】【高等部生徒】【地域支援】の回答に複数見られる。
その中で【高等部生徒】の回答では、「学校の先生たちは、悩みや相談など話をよく聞いてくれる」について肯定的回答が12.4%下降している。実数は、昨年度C:1名(計1名)であり、今年度はC:3名、D:1名(計4名)である。
→生徒が十分に話を聞いてもらえたと感じるよう、時間設定の不足なのか、肯定的に聞いてもらえたという満足感なのかを見極めながら、児童生徒の悩みや相談に丁寧に向き合い、必要があれば組織的に対応することが求められる。
寄宿舎について【高等部生徒】の回答では、「寄宿舎は、楽しい」について肯定的回答が10.6%下降している。実数は、昨年度C:2名(計2名)であり、今年度はC:4名(計4名)である。「寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる」について肯定的回答が10.5%下降している。実数は、昨年度、否定的回答0名であり、今年度はC:1名、D:1名(計2名)である。
→前述したとおり、今後も引き続き生徒の要望や悩みを聞きながら寄宿舎生活の充実に努める必要がある。
【地域支援】の回答では、「本校の相談支援の回数や時間は、適切である」について肯定的回答が12.0%下降している。実数は、昨年度C:1名(計1名)であり、今年度はC:3名(計3名)である。
→地域支援関係者、特に保育園幼稚園から訪問や支援回数の増加を望む声が上がってる。引き続き地域のニーズを踏まえて支援の充実に努め、地域の小中学校とも連携して支援を進めたい。
- ⑤ 地域からの本校に対する評価は、概ね高かった。
→さらなる発展に向けて、学校運営協議会委員等の意見も交えて、今後の学校運営を進めていく。
- ⑥ 自由記述は、「行事、会議の精選」「職員の児童生徒への丁寧な対応」「保護者への丁寧な情報提供」「地域と連携した防災、災害対策」に関して、継続及び改善すべき点があることが分かった。
→今後も教職員は、「業務改善の推進」を進め、児童生徒が気持ちよく学習活動や学校生活を送れるよう、常に児童生徒主体の学校運営をする意識を醸成していく必要がある。

(4) まとめ

教職員の回答から「業務改善の推進」は、これまで改善してきたことを評価しつつ、継続して進める必要がある。
高等部生徒については、項目のほとんどに1～6名程度の否定的回答(C,D評価)があることを踏まえつつ、発達段階や特性を考慮しながら、今後も丁寧な対応を継続する必要がある。一方で、高等部生徒の悩みや相談等への対応などの改善項目はあるものの、No.2「作業学習や実習で、働く力が付いている」、No.13「学校の先生たちの話は、丁寧で分かりやすい」と全生徒が実感していること、授業で必要な力が身に付いていると感じる設問の肯定的回答の平均値は94.6%と高評価であった。
保護者からは、全項目ほぼ90%以上の肯定的回答であるが、「感染症対策」「児童生徒一人一人への対応」「保護者への情報提供」「PTA活動の工夫」など、保護者の要望や期待があることを受け止め、丁寧な対応を継続する必要がある。保護者の総括項目としての「本校での学校生活に満足している」ことへは、96.1%が肯定的回答であることは、これまでの職員各位への評価であり、今後も努力していきたい。
その他、学校運営協議会委員、堀切地区住民は、全項目100%の肯定的回答、地域支援は、一部を除き90%以上の肯定的回答のため、外部からの期待に応えられている状況である。これについては、今後も継続していきたい。

令和6年度学校評価【自己評価】教職員アンケート集計

80%未満 5ポイント以上増 5ポイント以上減

【A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

				回答に占めるABの割合(%)			A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	(回答 計)	(無回 答)	平均 値
				R6	R5	増減							
1	社会の中で 自分の役割 を積極的に 果たす力を 育てる教育 の推進 (学部・舎)	1	本校は、一人一人の個性とニーズを尊重し、教科等を効果的に組み合わせた教育活動に取り組んでいる。	95.7	97.1	-1.4	28	39	3	0	70	0	3.4
		2	本校は、地域社会とのつながりを重視し、児童生徒の主体性を引き出す教育活動に取り組んでいる。	98.6	99.0	-0.4	36	33	1	0	70	0	3.5
		3	本校は、ICTを積極的に活用して授業改善を重ね、分かりやすい教育活動に取り組んでいる。	88.6	91.2	-2.6	21	41	8	0	70	0	3.2
2	健康と安全 を心がけ、 災害や感 染症、いじ め等から命 を守る教育 の推進 (学部・舎)	4	本校は、健康や命の大切さを教え、安心安全な生活ができるように感染症対策等に取り組んでいる。	97.1	98.5	-1.4	39	29	2	0	70	0	3.5
		5	本校は、食育や性教育を具体的に進め、健康で安全な生活ができるように生き方の学習に取り組んでいる。	95.7	96.0	-0.3	39	28	3	0	70	0	3.5
		6	本校は、児童生徒の心身の健康状態を十分に把握し、いじめ未然防止や不登校対策に取り組んでいる。	98.6	98.5	0.1	48	21	1	0	70	0	3.7
		7	本校は、様々な災害から身を守る防災安全教育に取り組んでいる。	100.0	100.0	0.0	46	24	0	0	70	0	3.7
		8	本校は、社会で自立して、地域の復興を願い、力強く生きる教育に取り組んでいる。	91.4	98.5	-7.1	35	29	6	0	70	0	3.4
3	自立と社会 参加に向 けた支援 の充実と 希望進路 の実現 (学部・舎)	9	本校は、児童生徒一人一人の希望と生きがいを大切にした自立と社会参加を目指している。	95.7	100.0	-4.3	41	26	3	0	70	0	3.5
		10	本校は、関係する市町村、関係機関と連携して一人一人の支援のネットワークを築いている。	91.4	98.5	-7.1	37	27	6	0	70	0	3.4
		11	本校は、進路に関する情報を児童生徒や保護者に積極的に伝え、キャリア教育の充実を目指している。	91.4	94.1	-2.7	34	30	6	0	70	0	3.4
4	地域で共 に学び共 に育つ教 育の推進 (学部・舎)	12	本校は、久慈圏域の特別な支援が必要な幼児児童生徒の相談支援を進め、地域の中核となる人材を育てている。	94.3	100.0	-5.7	37	29	4	0	70	0	3.5
		13	本校は、地域の学校の児童生徒との交流を進め、「共に学び共に育つ教育」を目指している。	95.7	98.5	-2.8	41	26	3	0	70	0	3.5
5	開かれた 学校づく りの推進 (全体)	14	本校は、PTAや地域の活動に参加し、積極的に地域との連携や貢献に取り組んでいる。	98.6	98.5	0.1	44	25	1	0	70	0	3.6
		15	本校は、学校評価の結果や学校運営協議会等の意見を取り入れ、本校の教育活動の改善を進めている。	98.6	100.0	-1.4	39	30	1	0	70	0	3.5
		16	本校は、学校ホームページや各種通信により積極的に情報を発信し、本校の理解を促進している。	98.6	99.0	-0.4	42	27	1	0	70	0	3.6
6	教職員の専 門性の向上 と効果的な チーム支援 の充実 (全体)	17	本校は、児童生徒の学びの連続性を図るために、互見授業、研究授業、授業研究会、外部講師研修等の校内研修の充実に努めている。	95.7	96	0.1	42	25	2	1	70	0	3.5
		18	本校は、全職員、保護者、関係機関、地域の方々が学校経営に参画できる体制「チーム拓陽」を推進している。	90.0	95.6	-5.6	30	33	6	1	70	0	3.3
		19	本校は、久慈地域全体の特別支援教育の充実に寄与するために、関係機関との連携を行っている。	95.7	97.1	-1.4	37	30	3	0	70	0	3.5
7	不適切な指導 の根絶する体 制の構築 (全体)	20	私は、児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶するために職員間の情報共有と連携を図って指導支援を行っている。	92.9	—	—	45	20	5	0	70	0	3.6
		21	私は、いじめにつながる状況がないか、目配りや情報収集を行っている。	100.0	95.6	4.4	44	25	0	0	69	1	3.6
		22	私は、いじめに関する校内研修会に参加又は資料で内容を確認している。 (1回目:いじめ防止校内研修会5月職員会議後に実施、2回目:学校教育課指導主事による研修会7月)	100.0	97.1	2.9	55	15	0	0	70	0	3.8
7	その他 (全体)	23	私は、職員会議や諸会議を通じて学校経営に参画している。	95.7	94.1	1.6	36	31	3	0	70	0	3.5
		24	私は、職務に関する職員間の情報共有と連携を図っている。	95.7	98.5	-2.8	36	31	3	0	70	0	3.5
		25	私は、校務処理の効率化と簡素化を図っている。	87.1	89.7	-2.6	24	37	8	1	70	0	3.2
		26	本校は、業務の精選、簡素化、効率化とスリム化を図り、業務改善を推進している。	79.4	69.1	10.3	14	40	12	2	68	2	3.0
		27	私は、担当業務について、仕事の手順メモや資料の綴り方を工夫して、だれが見ても分かる資料を作成している。(業務の整理と引継ぎの効率化)	85.7	—	—	18	42	10	0	70	0	3.1
		28	Teamsを活用した会議等のペーパーレス化は業務改善につながっている。	95.7	—	—	38	29	3	0	70	0	3.5
		29	本校は、会議等の効率化や不要と判断した会議の削減が図られている。	80.0	—	—	14	42	12	2	70	0	3.0
		30	私は、学校行事は終了後の反省と同時に次年度の骨子案を作成して確実に引き継いでいる。	88.6	—	—	24	38	8	0	70	0	3.2
		31	本校は、教材教員フォルダを作成し、学習プリントや教材の作り方など、共有化を図っている。	90.0	—	—	18	45	7	0	70	0	3.2
全体平均値				93.6	96.0	-1.2	職員70名中70名が回答しました。(100%)						

「一」今年度新たに設けた項目のため前年度の表示はありません

令和6年度学校評価【自己評価】高等部生徒アンケート集計

80%未満 5ポイント以上増 5ポイント以上減

【A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

			回答に占めるABの割合(%)			A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	回答計 (人)	無回答 (人)	平均値
			R6	R5	増減							
全 員	1	学校は、楽しい。	88.0	95.7	-7.7	13	9	3	0	25	5	3.4
	2	作業学習や実習で、働く力が付いている。	100.0	95.7	4.3	17	7	0	0	24	6	3.7
	3	生活単元学習(行事や係活動への取組)で生活に必要な力が付いている。	95.8	91.3	4.5	15	8	0	1	24	6	3.5
	4	国語や数学で自分に必要なことを学べている。	90.9	95.7	-4.8	16	4	1	1	22	8	3.6
	5	保健体育や芸術(音楽・美術)、特別活動や自立活動、総合的な探究の時間などで、自分に必要なことを学べている。	91.7	100.0	-8.3	15	7	2	0	24	6	3.5
	6	学級の仲間と楽しく過ごせている。	95.8	87.0	8.8	19	4	1	0	24	6	3.8
	7	部活動が、楽しい。	82.4	89.5	-7.1	13	1	0	3	17	8	3.4
	8	学校の先生たちは、悩みや相談など話をよく聞いてくれる。	83.3	95.7	-12.4	14	6	3	1	24	6	3.4
	9	学校の先生たちは、いじめの問題があるとすぐ取り組んでくれる。	75.0	82.6	-7.6	12	6	4	2	24	6	3.2
	10	地震や火事などの災害のとき、避難の仕方が分かる。	95.8	95.7	0.1	15	8	0	1	24	6	3.5
	11	卒業後どのような進路先があるか知る機会がある。	95.8	78.3	17.5	15	8	1	0	24	6	3.6
	12	学校の先生たちは、卒業後の進路や生き方について考える手伝いをしてくれる。	95.8	91.3	4.5	16	7	1	0	24	6	3.6
	13	学校の先生たちの話は、丁寧で分かりやすい。	100.0	100.0	0.0	15	9	0	0	24	6	3.6
	14	学校の先生たちは、頑張ったとき、ほめてくれる。	95.8	87.0	8.8	16	7	1	0	24	6	3.6
	15	学校の先生たちは、悪いところは注意してくれる。	91.7	87.0	4.7	17	5	0	2	24	6	3.5
	16	久慈拓陽支援学校に入ってよかったと思う。	96.0	91.3	4.7	20	4	1	0	25	5	3.8
寄 宿 舎 生 の み	17	寄宿舎は、楽しい。	78.9	89.5	-10.6	12	3	4	0	19	5	3.4
	18	寄宿舎の先生たちは、話をよく聞いてくれる。	90.0	84.2	5.8	11	7	2	0	20	4	3.5
	19	寄宿舎の先生たちは、病気やけがをしたとき、すぐ対応してくれる。	89.5	100.0	-10.5	13	4	1	1	19	5	3.5
	20	寄宿舎まつりや舎友会行事などの活動に満足している。	89.5	88.9	0.6	10	7	1	1	19	5	3.4
	21	部屋や棟の仲間と楽しく過ごせている。	90.0	94.7	-4.7	13	5	0	2	20	4	3.5
全体平均値			91.0	91.5	-0.4	高等部生徒30名中25名が回答しました。(83.3%) 高等部寄宿舎生24名中20名が回答しました。(83.3%)						

令和6年度学校評価【自己評価】保護者アンケート集計

【A: と思う B: だいたいと思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

		回答に占めるABの割合(%)			A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	回答計 (人)	無回答 (人)	全体 平均値
		R6	R5	増減							
1	学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。	96.2	98.3	-2.1	34	16	1	1	52	13	3.6
2	学校は、保護者の考えを尊重して個別の指導計画を作成し、指導、評価を行っている。	96.2	96.6	-0.4	40	10	1	1	52	13	3.7
3	学校は、お子様の自立と社会参加に向けた体験活動に取り組んでいる。	96.2	98.3	-2.1	35	15	1	1	52	13	3.6
4	授業等の教育活動は、お子様にとって適切な内容になっている。	96.2	94.8	1.4	33	17	1	1	52	13	3.6
5	学校は、お子様が楽しく学校生活を送るよう努めている。	96.2	94.8	1.4	37	13	2	0	52	13	3.7
6	学校は、お子様の健康や安全に配慮して適切に指導している。	94.2	98.3	-4.1	42	7	3	0	52	13	3.8
7	学校は、お子様や保護者の思いを尊重して進路指導を行っている。	96.2	94.8	1.4	34	16	1	1	52	13	3.6
8	PTA活動は、活発に行われている。	92.3	89.7	2.6	22	26	2	2	52	13	3.3
9	学校は、通信やホームページなどで保護者に必要な情報を伝えている。	94.2	91.4	2.8	34	15	3	0	52	13	3.6
10	(舎生の保護者のみ) 寄宿舎は、お子様の思いを尊重し、適切に対応している。	95.8	100.0	-4.2	15	8	0	1	24	4	3.5
11	お子様が、久慈拓陽支援学校で学校生活を送っていることに満足している。	96.1	98.3	-2.2	40	9	2	0	51	14	3.7
全体平均値		95.4	95.9	-0.5	保護者65名中52名が回答しました。(80.0%)						

令和6年度学校評価【自己評価】堀切地区アンケート集計

【A: と思う B: だいたいと思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

		回答に占めるABの割合(%)			A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	回答計 (人)	無回答 (人)	平均値
		R6	R5	増減							
1	学校は、地域と協力して活動しようという姿勢がある。	100	100	0	3	0	0	0	3	0	4.0
2	学校は、地域に貢献している。	100	100	0	1	2	0	0	3	0	3.3
3	堀切クリーン作戦は、地域の環境美化活動として役立っている。(今年度は雨天中止)	100	100	0	2	1	0	0	3	0	3.7
4	堀切ふれあいセンター等の花壇整備は、地域交流活動として役立っている。	100	100	0	2	1	0	0	3	0	3.7
5	(令和6年度取組行事について) 田屋町組みこし交流は、地域交流活動として役立っている。	100	100	0	2	1	0	0	3	0	3.7
6	(寄宿舍行事について) 寄宿舍まつりや避難訓練等は、地域交流活動として役立っている。	100	100	0	1	2	0	0	3	0	3.3
7	学校の教育活動について、「海鳴」「堀切通信」などから情報が提供されている。	100	100	0	2	1	0	0	3	0	3.7
	全体平均値	100	100	0	堀切地区役員3名中3名から回答をいただきました。(100%)						

令和6年度学校評価【自己評価】地域支援アンケート集計

5ポイント以上減

【A: と思う B: だいたいと思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

		回答に占めるABの割合(%)			校 種	A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	回 答 計 (人)	無 回 答 (人)	校 種 別 平 均 値	全 体 平 均 値
		R6	R5	増減									
1	本校の相談・研修支援事業は、活用しやすい。	95.0	100.0	-5.0	保・幼	4	10	1	0	15	7	3.2	3.4
					小	2	0	0	0	2	2	4.0	
					中	1	1	0	0	2	1	3.5	
					高	1	0	0	0	1	1	4.0	
2	本校の相談・研修支援は、園児児童生徒の背景理解を深め、具体的な支援に役立っている。	100.0	100.0	0.0	保・幼	9	6	0	0	15	7	3.6	3.7
					小	2	0	0	0	2	2	4.0	
					中	1	1	0	0	2	1	3.5	
					高	1	0	0	0	1	1	4.0	
3	本校の相談支援の回数や時間は、適切である。	85.0	97.0	-12.0	保・幼	6	6	3	0	15	7	3.2	3.4
					小	2	0	0	0	2	2	4.0	
					中	1	1	0	0	2	1	3.5	
					高	1	0	0	0	1	1	4.0	
4	本校の相談・研修支援の活用が、貴園貴校の特別支援教育体制の充実につながっている。	95.0	100.0	-5.0	保・幼	9	5	1	0	15	7	3.5	3.6
					小	2	0	0	0	2	2	4.0	
					中	1	1	0	0	2	1	3.5	
					高	1	0	0	0	1	1	4.0	
5	(該当園のみ回答)本校職員の園訪問等は、貴園園児の就学支援に役立っている。	100.0	100.0	0.0	保・幼	11	3	0	0	14	8	3.8	3.8
					小								
					中								
					高								
全体平均値		95.0	99.4	-4.4	本校で支援に関わった幼稚園、保育園、小・中・高校31ヶ所のうち20ヶ所から回答をいただきました。(64.5%)								

令和6年度学校評価【自己評価】学校運営協議会アンケート集計

【A: そう思う B: だいたいそう思う C: あまりそう思わない D: 全くそう思わない】

			回答に占めるABの割合(%)			A (4)	B (3)	C (2)	D (1)	回答 計(人)	無回 答(人)	平均 値
			R6	R5	増減							
1	社会の中で自分の役割を積極的に果たす力を育てる教育の推進	久慈拓陽支援学校は、児童生徒が主体的に活動する教育の充実を図り、ICTなどを活用し児童生徒の自立と社会参加に向けた個々の教育的ニーズに応える指導・支援を行っている。	100.0	100.0	0.0	4	1	0	0	5	2	3.8
2	健康と安全を心がけ、災害や感染症、いじめ等から命を守る教育の推進	久慈拓陽支援学校は、食育や防災学習、いじめ防止活動等を通して、健康や命の大切さを意識した取組や復興教育に関連する指導・支援に取り組んでいる。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
3	自立と社会参加に向けた支援の充実と希望進路の充実	久慈拓陽支援学校は、児童生徒一人一人の進路実現に必要な進路学習、職場見学、実習を適切に行っており、自立と社会参加に向けた生活経験の拡大を図っている。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
4	地域で共に学び共に育つ教育の推進	久慈拓陽支援学校は、久慈圏域の幼保小中高等学校等の特別な教育的ニーズに関する相談・支援に積極的に対応している。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
5	開かれた学校づくりの推進	久慈拓陽支援学校は、学校評価や学校運営協議会制度を活用し、本校教育理念に沿って地域に根ざした学校づくり、学校経営を行っている。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
6	教職員の専門性の向上と効果的なチーム支援の充実	久慈拓陽支援学校では、各種研修会や学習会及び講演会等を実施し専門性の向上を図るとともに、児童生徒のニーズにチームとして対応するシステムが機能している。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
7	不適切な指導の根絶する体制の構築	久慈拓陽支援学校は、児童生徒の人権を尊重した指導支援を行うための各種研修会を実施し、不適切な指導の根絶する体制を構築している。	100.0	—	—	5	0	0	0	5	2	4.0
8	その他	久慈拓陽支援学校の学校経営計画の重点は、適切である。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
		久慈拓陽支援学校の学校経営は、適切に行われている。	100.0	100.0	0.0	5	0	0	0	5	2	4.0
		全体平均値	100.0	100.0	0.0	学校運営協議会委員7名中5名から回答をいただきました。(71.4%)						

「—」今年度新たに設けた項目のため前年度の表示はありません

＜R 6 保護者のみなさまの自由記述に対する回答＞

改善を求めるご意見やご要望について、その内容と今後の改善の方策・対応は次のとおりです。() はご意見いただいた保護者の学部です。

内 容	改善の方策・対応
・コロナ感染が広がりを見せているとき、マスクをしている教職員が少ないと思いました。(小学部)	(小学部より) ・感染症対策として、今後も手洗い、うがい、換気、マスク着用等、厚労省・文科省の方針に沿って対応してまいります。マスクの着用については、感染リスクが高まらないよう、場面に応じた着用に努めます。
・生徒の声に、耳を傾けてない。(中学部)	(中学部・高等部より) ・生徒と触れ合う機会や対話を重視し、生徒一人一人を尊重した適切な支援をします。
・学校と先生方、保護者との距離が遠く意思の疎通が難しい。行事は毎回端的で工夫をせず同じことを毎年やるだけで楽しいものではなく、子供たち一人一人がどうしたら輝くのか考えた場面を作ろうとしない。やればいい、こなせばいい感が強い。(高等部)	(高等部より) ・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、保護者のみなさまと連携しながら適切な指導及び必要な支援に努めます。行事についても、生徒一人一人をかけがえのない存在としてとらえ、一人一人の実態から「どの場面で」「誰が」「どのように」活躍し、輝くのか、工夫しながら授業や行事を充実させていきます。
・担任が、必要な情報を的確に教えてくれることが少ないです。(高等部)	(高等部より) ・保護者のみなさまと連携を密にし、連絡帳や高等部通信、面談などの機会を通して、必要な情報を提供していきます。
・PTA 活動は自分自身も協力できていないところがあるので C にしました。今の保護者の状況に合った形にしていくと参加しやすいのかなと思いました。(小学部)	(総務部より) ・保護者のみなさまの声に耳を傾けながら、保護者のみなさまが参加しやすい PTA 活動を目指します。